

参加者：大人19名 子ども6名 天気：晴れ

11月になっても暖かい日が多く、昼間の気温は10月中旬並みの日が続いていました。この日は早朝こそ冷えましたが開始時刻までに気温はぐんと上昇して、少し歩くと汗ばむほどで上着を脱ぐ参加者もありました。好天に誘われてか家族連れをふくむ多くの参加者が集まり、子どもたちの元気な声が飛び交いました。

里山の家での持ち込み観察項目：ムベで育てて羽化したアケビコノハ、ゴマダラチョウのプリント

外へ出たとたん、子どもたちが昆虫を次々と捕まえて来ました。女の子が持ってきた虫網でツマグロヒョウモンのメスとオスを相次いで捕らえて虫かごに入れました。男の子の手にはナナホシテントウが乗ってせわしく歩いていました。先ほどの女の子は続いてオオアオイトトンボも虫網で捕らえました。



ツマグロヒョウモンの♀(右)と♂



ナナホシテントウ



オオアオイトトンボ

アキノレにナミテントウがついていたので観察していると、そのアキノレに実がついているのに気がつきました。近くのムクゲではフタトガリコヤガの幼虫が葉を食べていました。足元に落ちていたオオカマキリの卵鞘は壊れて中に少し卵が残っていました。カラスなどの鳥に食べられたのだろうと予想しました。



アキノレの実



フタトガリコヤガの幼虫



オオカマキリの卵鞘

大坂池の周辺で、カマキリ、ハラビロカマキリ、ムネアカハラビロカマキリの卵鞘が相次いで見つかりました。ムネアカハラビロカマキリは近年名古屋市でも増加傾向が報告されている外来種です。在来種のハラビロカマキリの卵鞘との色の違い、産みつけられた形状の違いなど、見分け方が紹介されました。



カマキリの卵鞘



ハラビロカマキリの卵鞘



ムネアカハラビロカマキリの卵鞘

子どもがコオロギを捕まえました。捕らえた2頭はどちらもオスでモリオカメコオロギと同定されました。道端のギンギンに食痕を見つけて葉を裏返してみるとハグロハバチの幼虫がいました。そばの地面を少し掘ると甲虫の幼虫が出てきました。子どもたちはカブトムシと思ったようでしたが、コガネムシの幼虫でした。



モリオカメコオロギ



ハグロハバチの幼虫



コガネムシの幼虫

道沿いの**コバノガマズミ**の実が赤く熟していたので食べてみました。「皮とタネしかない」「甘酸っぱい」など感想が出ました。そばのコナラの幹に**シノブ**がついているのを観察しました。中学生の男の子が**セモンジンガサハムシ**を見つけ、角度によっては金色に光って見えるので、参加者から「きれい」との声が上がりました。



コバノガマズミ



シノブ



セモンジンガサハムシ

**カキ**や**ナンキンハゼ**、**ヤマウルシ**などの葉が赤く色づいているのを観察しました。**ムクノキ**には青い実に混じって黒く熟しているものがいくつかあったので食べてみました。甘くて酸味は全くなく、食べた参加者はみんな「美味しい」と言っていました。子どもたちは大人から勧められても食べようとはしませんでした。



カキの紅葉



ナンキンハゼの紅葉



ムクの実

**キリ**の実の殻を割ると中には夥しい数のタネがあり「これほどのタネが出ても辺りがキリだらけにならないのは不思議」との意見が出ました。**ネジキ**の実も観察しました。花は下向きに咲くのに実が上を向くのは鳥にタネを運んでもらうためではないかと予想しました。田んぼの脇では**ヒメタイコウチ**が見つかりました。



キリの実



ネジキの実



ヒメタイコウチ

湿地では夏にかれんな花をつけていた**シロバナサクラタデ**が穂となっていました。池の**サカマキガイ**について貝の口を手前に置いた時に左側にとがった部分が来たらサカマキガイ、モノアラガイはその反対との説明がありました。タンポポを見つけた参加者によると秋に咲くタンポポは**セイヨウタンポポ**だけとのことでした。



シロバナサクラタデ



サカマキガイ



セイヨウタンポポ

平和公園での観察項目（観察順）： ツマグロヒョウモンのメスとオス、ベニシジミ、ナナホシテントウ、オオアオイトトンボ、ナミテントウ、ナミテントウの蛹、アキコレの実、タマムシの翅、ノイバラ、ジョロウグモ、ヤナギルリハムシの幼虫と成虫、オオカマキリの卵鞘、サメハダツブノミハムシ、オジロアシナガゾウムシ、ワカバグモ、フタトガリコヤガの幼虫、ムクゲ、ヒメアカネ、ヒメクグ、カマキリ・ハラビロカマキリ・ムネアカハラビロカマキリの卵鞘、クモの卵囊、クコの実、コバノガマズミ、キノコの間、ツマグロオオヨコバイ、モリオカメコオロギ、ゴミムシの間、カミキリムシの食痕、シノブ、セモンジンガサハムシ、コバネイナゴ、バッタを食べるオオカマキリ、オンブバッタのメス、ギシギシ、ガの幼虫、ハグロハバチの幼虫、クリイロクチブトゾウムシ、コガネムシの仲間の幼虫、セアカヒラタゴミムシ、カキの紅葉、ナンキンハゼの紅葉、ヤマウルシの紅葉、ムクの実、マユタテアカネ、ヒメタイコウチ、キリの実、ツヤアオカメムシ、ネジキの実、シロバナサクラタデ、サカマキガイ、セイヨウタンポポ、ロウバイの偽果、アゲハの幼虫